

## 受賞者の皆さんをご紹介します 令和6年度北上市芸術文化功労等表彰 ・ 体育功労等表彰

芸術文化の向上または発展に優れた功労のあった人に「芸術文化功労賞」、芸術文化に関する全国規模のコンクールなどで顕著な成績を収めた人に「芸術文化奨励賞」、スポーツ振興に顕著な成績を収めた人に「体育功労賞」、全国規模のスポーツ大会で優秀な成績を収めた人に「スポーツ栄光賞」「スポーツ奨励賞」を贈りました。

### 芸術文化功労賞

▼小原 麗子さん(89歳・和賀町長沼) 詩人として、地域の生活に根差した詩を書き、語り合う活動を先導。日本現代詩歌文学館運営協会では、平成26年から令和4年まで企画委員として事業の企画・運営に助言し、日本現代詩歌文学館の発展に寄与しました。

▼菊池 篤さん(83歳・和賀町横川目) 平成23年から和賀町菊花会事務局長として会の発展向上に努め、県菊花会連盟からも高く評価されました。また、30年から和賀町文化協会監事も務め、芸術文化活動の推進に尽力。個人としても山人製鉄所跡や鉱山・鉱山軌道跡の調査・出版で地域文化の伝承に貢献しました。

▼沼山 源喜治さん(83歳・二子町) 平成20年から市文化財保護審議会会

長として、文化財の保存と活用尽力。また古文書の収集・整理・解説に努めて多大な成果を上げ、その知見で新編北上市史編纂に貢献しました。さらに16年に岩手考古学会会長、22年から顧問を務め、県内においても考古学研究の振興と文化財保護の推進を主導しました。

### 芸術文化奨励賞

▼北上ミューズコーラス隊 第91回NHK全国学校音楽コンクール全国コンクール・中学校の部(金賞)・第6回東京国際合唱コンクールフオルクロア部門(金賞)

▼長屋 凜さん(22歳・アメリカ、柳原町) ジョーレンソングライティングコンテストワールド部門(ブロンズ)

▼菊池 萌花さん(24歳・下江釣子) 全日本音楽コンクール2024全国大会(一般フ口部門)U30(丁位)

▼花形 幹土さん(44歳・町分) 第41回日本料理全国大会(文部科学大臣賞)

### 体育功労賞

▼菅 義行さん(69歳・上江釣子) 平成11年から北上市剣道協会理事として、19年には理事長、25年からは副会長を務め、剣道協会の運営を支え、各種大会の審判長なども歴任。重責を担い、当市の剣道の普及や発展に貢献しました。

▼小田島 廣司さん(68歳・二子町) 平成16年に二子町体育協会事務局長、翌年には副会長、23年からは会長として、長年にわたり二子町体育協会役員を務め、地域のスポーツ発展に貢献しました。

### スポーツ栄光賞

▼小原 乃亜さん(八戸学院大4年、相去町) 2024ジャパントラックカップ I女子エリートスプリント(3位)(自転車競技)

▼佐々木 秋羽さん(花巻東高3年、上江釣子) 第28回全国高等学校女子硬式野球選手権大会(準優勝)

▼高橋 汰紅さん(黒沢尻工業高2年、村崎野) JOCジュニアオリンピックカップ 第18回U18陸上競技大会U18男子3000mW(3位)

▼海野 安璃さん(常盤木学園高2年・更木) 第33回全日本高等学校女子サッカー選手権大会(ベスト4)

▼小原 健太郎さん(和賀西中3年、和賀町横川目) 第51回全日本中学校陸上競技選手権大会男子3000m(3位)

▼星 晟矢さん(北上北中1年・二子町) 第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会U12歳区分100m自由形(2位)

### スポーツ奨励賞

▼柄谷 和哉さん(51歳・幸町) 日本スポーツマスターズ2024長崎大会水泳競技50〜54歳区分200m個人メドレー(2位)

## 児童手当の拡充 手続きをしない人はお早めに

■主な拡充内容：所得制限の撤廃、支給対象期間を高校生年代まで延長、多子加算の第3子以降は3万円および計算対象の拡充、支給月が年6回(偶数月に変更)  
■支給資格者：支給対象児童・高校生年代以下の児童を養育する父母などのうち、所得が高い人  
■新規認定申請が必要な人：①所得上限額超過のため、現在児童手当を受給していないの中学生以下の児童を養育してならず、高校生年代の子を養育している  
■監護相当・生計費負担の確認書が必要



市のホームページ予約フォーム

要人：大学生年代の子を含めて3人以上の児童を養育している  
※ただし、該当する年齢の児童がいても、養育されていない児童自身で生計を立てている場合は提出不要です。  
■申請期限：3月31日(月)までに子育て支援課へ  
※令和7年4月1日以降に申請した人は、申請があった翌月分からの支給となり、さかのぼった支給はできませんのでご注意ください。詳細は市のホームページをご覧ください。  
■問い合わせ：子育て支援課 ☎72-8261

## 低年齢児を子育てしている多子世帯を支援します 在宅育児支援金

■支給対象者：次の全てに該当する人  
①市内に在住している②次のア〜ウのすべてに該当する児童と同居し監護しているア：18歳に到達してから最初の年度末を迎えていない児童のうち2人目以降、イ：生後8週間を超え、かつ満3歳未満 ウ：保育所などに入所していない③配偶者も含め、育児休業給付金に類する給付を受給していない④配偶者も含め、生活保護を受けていない⑤配偶者も含め、暴力団員と関係を有していない  
■支給金額：対象となる児童1人当たり月1万円



■申請方法：要件を満たした日から1カ月後までに申請書や必要書類を子育て支援課へ  
※詳細は市のホームページをご覧ください。  
■問い合わせ  
☎子育て支援課 ☎72-8261

## 市の動き

### 市と黒北地区自治振興協議会が高齢者の見守りに関する協定を締結 1月29日

市と民間事業者などが連携し、異変のある高齢者の早期発見と支援を行う、北上市高齢者見守り安心ネットワーク事業の協定調印式は、市本庁舎で行われました。

今回は、地域づくり組織として初めて黒沢尻北地区自治振興協議会(伊澤邦晃会長)と協定を締結。伊澤会長は「地域の目を生かし、少しでも高齢者の安心につながるお手伝いをしたい」と抱負を述べました。

今回の協定締結で協力事業者は42事業者に拡大。地域の見守りが加わることで、市内の高齢者見守り体制がさらに強化されることが期待されます。



### 県広報コンクールで入賞 1月16日

令和6年度岩手県市町村広報コンクールにおいて、広報きたかみ3月号が広報紙の部(参加点数28点)で3位に入選しました。

今後も皆さんに親しまれる広報紙の作成、情報発信に努めていきます。

